



加藤病院病院歌

作詞 栗間 久・作曲 米山道雄

- 1、碧空（あおぞら）に かの日の丸を
仰ぎ見る 広き心 清らなる 瞳をもちて
清らなる 瞳をもちて 求めよう 人の幸せ
- 2、季(とき)移り 年は経れども 慈仁愛
心に秘めて 微笑みは 常に絶やさず
微笑みは 常に絶やさず
病む人の 癒えゆく日まで
- 3、一本（ひともと）の 美わし かよわくも
き然とたてり 道遠く 茨続けど
道遠く 茨続けど 共々に 望み失わず
- 4、朝日影 あめつちにみち よみがえる
人の生命（いのち）よ 栄光を
もたらすものぞ 栄光を
もたらすものぞ ああ我等 紺の人文字



コロナ禍に生きる

令和4年1月1日

社会医療法人仁寿会 理事長 加藤節司

新年あけましておめでとうございます。

旧年中も、地域の皆様には大変お世話になりました。誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスが世界を席捲しパンデミックとなって以来早くも二年目の初春を迎えました。それにもかかわらずこの原稿を書いている現在、新株オミクロンが世界的に猛威を振るい、本邦でもじわじわと市中感染が認められはじめています。こういった世相ではありますが、皆様におかれましては、新たな節目となる新年を心躍らせながら健やかに迎えていらっしゃることを願っております。

「私たちは、新たな社会を切り開くその最先端にいるのかもしれない。」と、昨年のご挨拶で申し上げていたとおり、川本町では、90%を超える新型コロナウイルスワクチン接種率を成し遂げています。治療法も軽症から重症まで病態に応じて確立されつつあります。働き方においてもテレワークやリモートワークが充実して参りました。人類を挙げて、様々な社会変革を実践した一年であったと思います。

「天災が起きると、人間の歴史の見方が変わる。いや世界の見方が変わる。」と看破したのは歴史家の磯田道史さんです。さらに、磯田さんは、天災リスクを地震・津波などの地政学的リスク、風水害などの気象学的リスク、新型インフルエンザにテロなどを加えた感染症的リスクの3つに分類し、「人が生き延びるための知恵」として、これらのリスクに備えるべく歴史に学ぶよう呼びかけています。これら3つのリスクへの備えが、加藤病院他施設群の移転新築計画に他なりません。歴史に学ぶとするなら、私たちがこの計画を進めることは、リスクに対する事前復興となりえます。天災リスクのみならず町の抱える課題を、実際に被災する前に、実際に現実のものとしないうちに、本計画遂行を通じ、予め解決していくことができれば何よりです。施設群の移転新築について、あらためまして皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たち仁寿会は、本年も「新たな希望」を胸に、法人徽章“紺の一文字”のもと、法人ビジョン“地域の人々を最もよく知り、その良き人生に貢献することで地域社会を変えていく”の実現を目指します。今年一年も、皆様が健康長“寿”を楽しめますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第14回目となるシリーズ「連携」は、「社会福祉法人敬愛福祉会 デイサービスやすらぎの里別府・やすらぎの里別府居宅介護支援事業所」の施設長 南家祐介様にお話を伺いました。



－ 法人の理念・歴史についてお聞かせください

当法人は平成16年に設立し、平成17年には訪問介護・通所介護事業所を開設しました。その後、訪問介護は撤退し、平成21年に居宅介護支援事業所、平成26年に配食事業、平成28年に町からの委託事業で学童保育（児童クラブ）を始めました。

社会福祉会敬愛福祉会の基本理念は「みんなちがって みんないいかんきょうづくり」です。これを念頭に毎朝のミーティング時に職員全員で「純情（すなお）・明朗・愛和・喜動をこころがけて行動します」斉唱し、業務を開始しています。

－ 地域の現状についてお聞かせください

美郷町の人口は令和7年には、人口3,900人、高齢者人口1,900人、高齢化率48.3%になると推計されています。世帯数も減少しており、独居高齢者世帯や高齢者のみの世帯は全体の約5割を占めており、核家族化も進んでいる状態です。

施設が位置するのは邑智郡美郷町別府で、大田市祖式町と隣接する山間部です。町と市それぞれの中心部から外れているため、車がないと役場、病院、商店などへの移動は困難です。そのため町営バスが巡回しており市街地への移送を行っています。しかし、地理的、身体的に町営バスの利用が困難な人もいるため、役場の支所の設置、病院の訪問診療、物品の移動販売、地域住民による送迎・訪問サービスなどがあります。

行政でも独居高齢者世帯、高齢者のみの世帯が多いため、通いの場の提供、配食事業、移動方法の確保・負担軽減のためのバス・タクシー料金の補助をするなどの事業を行っています。とても不便な所ですね。

－ 現在の自宅で住み続けられるために、何かお考えはありますか

個人的にはこのまま民家が点在した場所で住み続けるのは困難だと思います。生活しやすい場所に集まっていくのではないのでしょうか。平地の拠点が必要になってくるのではないかと思います。行政が少しずつでも進めていかないと今のままを続けるのは難しいと思います。



－ 地域連携についてお聞かせください

地域連携について、病院との関係はうまくいっていると思います。居宅介護支援事業所を平成21年に立ち上げて以来、大田市立病院や加藤病院、出雲方面の病院と関わってきました。実際に病院の相談員と話したり電話したりしても、非常にうまくいっているような気がします。

電話で話すだけでなく、お互いに顔を知っているというのが大きいと思います。電話だけだと、お互いに相手がどんな人かわからないと思います。遠くもなく、すごく近い訳でもない距離という中で、お互いの顔がわかるというのは非常に重要な気がします。顔が見えているからこそ相談もできるのだと思います。相談員にお願い事があってすぐに相談できるのも、顔を知っているからであって顔を知らないといけないことだと思っています。

－ 配食サービス事業についてお聞かせください。

生きていくためには食は欠かせないことです。『買い物ができない』『調理ができない』、地域にはそういった方が多数いらっしゃいます。そのような理由で配食事業を自分たちでやろうということになりました。

配食サービスは夕食のみとなっています。デイサービスを利用された方が注文されていれば、そのままお持ち帰りいただいています。

また美郷町の助成に該当する方は、助成を受け配食サービスを利用することができます。対象となる方は、前述したとおり『買い物ができない』『調理ができない』という方になります。食べやすいようにおかずを刻むなど食事形態

の対応は可能ですが、糖尿病食等の治療食の対応は難しいということもみなさんにはお伝えしています。

－ 今後の事業展開や展望をお聞かせください

配食サービス事業に関連しますが、この地域は交通の便に難があります。食品に限らず他の物品にしても購入手段が限られるため、車を運転できない人はそれだけで困難に直面します。食べるものがないと生きていけませんので、食に対して関心が高くなっています。

デイサービスの事業でも食と栄養状態維持・改善に取り組んでいます。口腔ケアサポーター研修（邑智歯科医師会主催）をほとんどの職員が受講していますので、体重やBMIの把握、口腔機能も把握し、食を通して、体調を維持するという取り組みを行っています。このような取り組みの結果、デイサービスでは口腔機能の加算を算定しています。

将来的な話ですが、栄養士を雇用して、現在も提供している配食やデイサービスの食事も、よりバランスの良いものにしていけたらと思っています。糖尿病食などさまざまな形態の食事を提供していきたいと思っています。

まずは栄養を摂る、リハビリを続けられる体力を維持する、自宅に住み続けられる生活力を養っていくということを、この地域で使命としてやっていけたらと思います。

できればお昼の配食サービスもしていきたいと思っています。そのためにも移動・配送手段等を考えないといけないと思っています。



社会医療法人仁寿会 加藤病院 移転新築計画について

社会医療法人仁寿会 専務理事・事務局長 田中 修



社会医療法人仁寿会が平成23年8月1日に全国で一番小さな町にある「社会医療法人」として島根県知事の認定を受けて以来、おかげさまで満10年が経過しました。加藤病院が過去50年以上にわたり行ってきた永年の僻地医療分野での公益活動と経営の高い透明性が評価されたわけですが、これもひとえに地域の皆様のご指導ご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、社会医療法人仁寿会では、中核となる加藤病院をはじめとする施設群の新築移転について、報道でも紹介していただいたように、喫緊の課題として一刻も早く解決しなければならぬと考えています。

この課題について、ぜひ地域の皆様と共有させてください。
喫緊の課題となっている理由は、大きく分けて次の3つになります。

1) 施設強靱化を要する；

病院本館（道路側3階建て）が築50年を超え現行の耐震基準に適合していないことが明らかになったこと

2) 水害回避を要する；

水害時、仮に堤防が決壊した場合には、現施設が浸水想定区域内にあること

3) 省人力・自動化を要する；

全国的な給食職員の深刻な人材不足があることから省人化可能な最新の給食設備が必要であること

これらは全て、医療介護サービス機能の即時停止につながりかねない、一刻の猶予も許されない課題であり、その解決には施設群の移転新築が不可欠となります。これら課題解決について、町当局にご相談したところ、川本町第6次総合計画の策定に合わせ検討をいただきました。その結果、当施設群の機能が地域の暮らしの安心安全を支える重要な社会資本であり、また雇用の受け皿としても、地域産業の後方支援としても重要な役割を果たしているとして、病院施設群の移転候補地は、現在の「すこやかセンターかわもと」のある敷地を提案していただきました。具体的には、老朽化したすこやかセンターを解体し、その跡地を含めた敷地内に必要な病院施設群を新築いたします。概ねの延床面積は約5千㎡を想定しています。目指す保有機能として、入院医療・外来医療・介護保険施設機能はもちろん、以下の拠点を構築します。

1. モバイルヘルスケア（訪問・巡回による在宅医療介護連携）拠点

2. 地域コミュニケーション拠点

3. 健康長寿・労働長寿支援拠点

4. 災害時事業継続・避難等地域支援拠点

5. リーンヘルス（無駄のない筋肉質な保健医療）実現拠点

一方で、現在「すこやかセンターかわもと」が有する機能については、仁寿会の既存建物の活用も視野に入れながら、川本町、社協、たすけあい川本をはじめとする関係機関・団体と協議を重ねて参ります。これら移転新築については、社会の公器、共通の社会資本とはいえ、日本で一番小さな自治体にある、小さな社会医療法人仁寿会のみでは到底成し得ません。皆様のご理解と多大なるご支援をぜひ賜りますようお願いいたします。

私たち仁寿会のビジョンは、「地域の人々を最も良く知り、その善き人生に貢献することで地域社会を変えていく」としています。このビジョンの実現へ向けて、皆様と一緒に取り組みたいと考えています。本件について、ご意見ご要望があれば、病院ホームページにある問い合わせメールにてお知らせください。

健康と長く久しくお付き合い



in 和かち逢う家



11月14日（日）に第2回目となる

“健康と長く久しくお付き合いin和かち逢う家”を開催しました。

運動メニュー

- 握力・平衡性・脳活性度測定
- 美脚・美尻レッスン
- 健康ウォーキング(2kmまたは4kmコース)



大田市長久町にある「サービス付高齢者向け住宅 ナーシング&リハビリテラス和かち逢う家」を会場に、地域住民の方が医療・介護などで困った際に、何でも聞ける・頼れる関係性づくりを目指して島根おおだ健康ビューローと共催し昨年度より開催しています。

島根おおだ健康ビューローは仁摩を中心に、地域資源を健康や観光に活かす「ヘルスツーリズム」を展開されています。そのノウハウを活かしイベントの企画をしていただきました。



今回（第2回）から、**長久まちづくりセンター**にも共催していただき、地域住民による支え合い活動の実現となりました。



次回の開催は、桜の時期を予定しています。

ウォーキングコースには桜並木のポイントがあるので、お花見しながらウォーキングを楽しめます♪

町外の方も参加ができますので、ご家族、ご近所お誘いあわせのうえご参加ください！

※ 新型コロナウイルス感染症の状況により変更になる場合があります

新入職員紹介
(令和3年7月5日～10月4日入職)



恒松 洋子 (パート職員)
ヘルプステーションながひさ

10月から入職し、やっと仕事の流れや入居者様のお顔と名前が一致するようになりました。皆さまに笑顔で喜んでいただけるよう頑張ります。

私たちと一緒に働きませんか

看護師・歯科衛生士

介護職員 (無資格でも正社員として採用します)

医療事務・運転手

どの職種も資格は問いません！
資格取得支援制度もあります！！
まずは、遠慮なくお問い合わせください♪

【お問い合わせ】

0855-72-3040

(仁寿会事務局：田中、小笠原)



身体温ま～るドリンク 甘酒豆乳



寒い時期がまだまだ続きますが、みなさん「冷え」などに悩まされていませんか？
今回は、手軽に作れるホットドリンクをご紹介します♪

< 材料 >

- ・ 甘酒
- ・ 豆乳
- ・ お好みで生姜
(チューブでもOK)



< 作り方 >

1. 甘酒と豆乳をコップに同量ずつ入れ、お好みで生姜を加え混ぜる。
2. 電子レンジで加熱する。(600W 1～2分程度)



甘酒は麴(こうじ)を発酵させた発酵食品で、体を温める作用があります。
さらに、生姜を加えることで体もぽかぽかになりますよ♪

加藤病院外来診療科のお知らせ（令和4年1月1日～）

【受付時間】 8:15 ～ 11:30 【診療時間】 9:00 ～ 12:00

※ 火水木（健診・ワクチン外来）：【受付時間】13:00～15:30 【診療時間】 13:15～16:00

【休診日】 土曜・日曜・祝日・お盆（8月14日～15日）・年末年始（12月30日～1月3日）

診療科	時間	月	火	水	木	金	備考	
内科系	総合内科	午前	松浦 達也	島根大学	常勤医・島根大学	島根大学	柳光 寛仁	
	ハ°ンクリニック 内科	午前				加藤 節司		毎月第1・3・5のみ
	循環器内科	午前	大畑 修三	島根大学	大畑 修三	大畑 修三		
		午後		予約検査				
	消化器内科	午前	松浦 達也	島根大学		予約検査	石根 潤一	火曜：第1・3・5のみ
		午後		予約検査				
神経内科	午前	山口 拓也	山口 拓也		島根大学			
内分泌・代謝 内科	午前					常勤医・島根大学	常勤医・島根大学医師が交互に診療	
	午後					予約診療		
外科系	整形外科	午前	市本 裕康		島根大学			
		午後			(初診11:00まで)			
その他の 診療科	泌尿器科	午前		林 隆則			第2・4のみ	
	眼科	午前		島根大学 (初診14:00まで) (再診15:00まで)		島根大学		
		午後						
	耳鼻咽喉科	午前		島根大学	島根大学		火・水 交互に診療 受付は11:00まで	
	皮膚科	午前			島根大学		毎月第1・3・5のみ	
	精神科	午前				安田 英彰	毎月第2・4のみ	
	健診 ワクチン	午後		田中 小百合	石根 潤一	常勤医		午後（13:15～16:00）のみ
禁煙	午前				加藤 節司 (第1・3・5のみ)			
	午後				加藤 節司 柳光 寛仁	柳光 寛仁		

※ 救急の場合はこの限りではありません。夜間・休日は当直医師が担当します。

※ 正面玄関の自動ドアは午前8時より開門します。

※ 月、木、金曜午後は専門外来の予約診療のみとなります。

※ 健診ワゴン、禁煙(こころとからだの健康増進センター)外来は保健師・医師が共同で担当します。

【加藤病院】（島根県邑智郡川本町大字川本383-1）

【電話】 0855-72-0640 【FAX】 0855-72-1608



加藤病院

《理念》

心・技・体・責任

まごころ 医療技術 健康・健全 信頼と期待

《基本方針》

患者中心の医療

安全な医療

公正な医療

生きがいを実現できる医療

これら4つの実現のため、私たちは組織を

よりよく変革し続けます。

仁寿会の各部門連絡先一覧

《仁寿会地域総合ヘルスケアステーションかわもと》

- ・加藤病院
〒696-0001 邑智郡川本町川本383-1
TEL : (0855)72-0640 FAX : (0855)72-1608
- ・医療近接型住まい「穩」
〒696-0001 邑智郡川本町川本386-3
- ・介護老人保健施設仁寿苑
〒696-0001 邑智郡川本町川本381-4
TEL : (0855)72-3111 FAX : (0855)72-3112
- ・訪問看護ステーションかわもと
- ・ケアプランステーションかわもと
- ・ホームヘルパーステーションかわもと
〒696-0001 邑智郡川本町川本383-1
TEL : (0855)72-2636 FAX : (0855)72-2640
- ・グループホームかわもとあひあいの家
〒696-0001 邑智郡川本町川本376-4
TEL・FAX : (0855)72-2950

《仁寿会地域総合ヘルスケアステーションおおだ》

- ・仁寿診療所そじき
〒694-0431 大田市祖式町1082-2
TEL : (0854)85-2303 FAX : (0854)85-2304
- ・仁寿診療所ながひさ
〒694-0041 大田市長久町長久ハ24-2
TEL : (0854)83-7166 FAX : (0854)83-7088
- ・サービス付高齢者向け住宅ナーシング&リハビリテラス和かち逢う家
TEL : (0854)83-7100 FAX : (0854)83-7088
- ・ホームヘルパーステーションながひさ
TEL : (0854)83-7655 FAX : (0854)83-7088
- ・訪問看護ステーションながひさ
〒694-0041 大田市長久町長久ハ24-6
TEL : (0854)83-7600 FAX : (0854)83-7688



仁寿会 各部門患者数・利用者数実績

地域総合ヘルスケアステーションかわもと		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	月平均
加藤病院 外来	延べ数	2,654	2,211	2,052	2,475	2,323	2,127	2,263	2,254	2,260	2,412	2,324	2,938	28,293	2,358
加藤病院 入院	延べ数	2,341	2,292	2,135	2,309	2,215	2,331	2,180	2,313	2,228	2,320	2,336	2,296	27,296	2,275
仁寿苑 通所	延べ数	504	391	437	532	504	548	546	562	490	553	570	548	6,185	515
仁寿苑 入所	延べ数	969	989	909	1,028	962	987	937	934	964	934	984	962	11,559	963
仁寿苑 短期	延べ数	57	39	52	50	45	54	50	64	49	60	49	41	610	51
仁寿苑 訪問リハ	訪問回数	279	251	273	310	328	319	340	341	357	384	351	364	3,897	325
ケアプランかわもと	件数	132	123	127	134	132	132	135	132	133	132	130	133	1,575	131
訪問看護 かわもと	訪問対象者	68	62	62	69	67	66	67	57	56	58	59	55	746	62
	訪問回数	282	240	257	302	284	262	305	267	241	259	259	262	3,220	268
ホームヘルパー かわもと	訪問対象者	29	31	30	31	29	26	30	29	27	29	24	27	342	29
	訪問回数	240	213	256	306	282	258	303	286	216	237	205	229	3,031	253
グループホーム	延べ人数	278	269	252	279	233	272	270	276	279	270	279	258	3,215	268
地域総合ヘルスケアステーションおおだ		12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	月平均
診療所ながひさ	延べ数	164	142	148	176	155	134	145	139	153	149	160	147	1,812	151
診療所そじき	延べ数	21	19	18	29	37	22	29	25	18	32	35	22	307	26
訪問看護 ながひさ	訪問対象者	46	45	46	49	50	47	45	45	43	48	47	51	562	47
	訪問回数	255	226	219	338	281	289	248	249	236	224	230	239	3,034	253
ホームヘルパー ながひさ	訪問対象者	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	1	2	31	3
	訪問回数	32	30	25	24	23	27	25	27	14	11	9	12	259	22
定期巡回随時対応	訪問対象者	34	33	33	35	35	34	33	33	36	38	38	39	421	35
	訪問回数	5,223	5,085	4,515	5,612	5,687	5,546	4,859	4,895	6,507	6,582	7,258	6,602	68,371	5,698
和かち逢う家	入居人数	49	47	47	50	49	48	48	47	47	47	48	48	575	48

仁寿会 広報誌 発行者

社会医療法人仁寿会 事務局 経営管理課
 連絡先 0855-72-3040
 E-mail info@k-jinju.or.jp
 ホームページ <http://www.k-jinju.or.jp/>

